

横浜市会議会のあり方調査会報告（第2回）

本調査会は、市会運営委員会の諮問事項のうち、「インターネット中継実施に向けての計画化とこれに伴う議会運営のあり方」について検討し、検討結果をまとめましたので御報告します。

《インターネット中継実施に向けての計画化とこれに伴う議会運営のあり方》 （その1）

1 検討の趣旨

本市会においては、平成15年3月5日の第二次議会改善検討懇話会報告で、「本会議等のインターネット中継は、市民に対して議会情報を広くかつ迅速に提供していく上で有効な手段であるが、技術上の問題や費用対効果の問題などもあるので、今後これらの課題を踏まえて、導入に向けて検討していく必要がある。」とされています。

ところで、平成15年度横浜市市民意識調査によれば、本市のインターネットの世帯普及率は、63.3%（前年比3.3ポイント増）で、年々増加しており、広報等の手段としてインターネットを活用する環境が整備されてきていると言えます。

また、他都市議会のインターネット中継の状況は、政令指定都市及び都道府県の60議会中33の議会で、インターネット中継を実施又は本年度中に実施予定となっており、議会のインターネット中継が一般化しつつある状況となっています。

本調査会では、上記のような市民のインターネット利用及び他都市議会のインターネット中継実施の状況の進展から、インターネット中継は、市民にとって議会をより身近にするものとなり、情報提供の手段としても将来的に有用なものであるとの認識に立ち、第二次議会改善検討懇話会の報告内容を踏まえつつ、改めて本市会におけるインターネット中継導入に向けた検討を進めました。

2 検討の結果

本市会では、これまで本会議録、委員会記録等を登載した横浜市会ホームページのほか、議会だよりの発行、テレビ録画中継、モニター放映など、広報媒体等の特性を活用した議会情報の提供に努めてきました。

このような中で、インターネット中継は、市民が、自宅等のどこからでも市会ホームページにアクセスすることにより、生中継でリアルタイムに本会議等を視聴でき、また、録画映像をいつでも視聴できるなど、優れた利点を有する情報提供手段です。

このため、本調査会としては、

- (1) これまでの議会情報の提供に加えて、インターネット中継をその特質を十分に考慮して計画、実施すべきであり、実施に当たっての基本事項は、
 - ① 放映対象は、当面、本会議及び予算・決算特別委員会とする
 - ② 実施時期については、できる限り早期に実施することが望ましいことから、予算・決算特別委員会については平成 17 年開催の決算特別委員会を、本会議については平成 17 年第 4 回定例会を目途に実施する
 - ③ インターネット中継の即時性や利便性等の効果を発揮させるため、生中継とオン・デマンド方式による録画中継を行うとともに、本会議及び予算・決算特別委員会の全日程を放映する
 - ④ テロップを表示する等により、市民にとってよりわかりやすいものとする
- (2) 上記の基本事項に基づいて、インターネット中継の計画を具体化していくことにあわせ、本調査会として、録画・録音の取扱いなど、細部事項及び市民によりわかりやすく、かつ議会の関心を高めていく上での議会運営のあり方等について、さらに検討を進めることとする

とのことで意見の一致を見ました。

平成16年11月1日

横浜市会議会のあり方調査会

座長	藤代	耕一	(自民党)
副座長	木村	久義	(公明党)
	〃	森	敏明 (民主党)
委員	横山	正人	(自民党)
	〃	古川	直季 (自民党)
	〃	仁田	昌寿 (公明党)
	〃	高梨	晃嘉 (民主党)
	〃	今野	典人 (みらい)
	〃	中島	文雄 (共産党)
	〃	杉山	典子 (ネット)